

新冠町の橋梁長寿命化修繕計画

H24.1.20 付

【目 的】

橋梁管理者(国や地方公共団体等)は、道路使用者に対して、交通の安全を確保することを第一として管理を行っています。

しかし、昨今における橋梁の高齢化や財政状況を踏まえると、持続的な道路整備・橋梁管理を行っていくためには、合理的、効率的、経済的な維持管理体制が求められています。

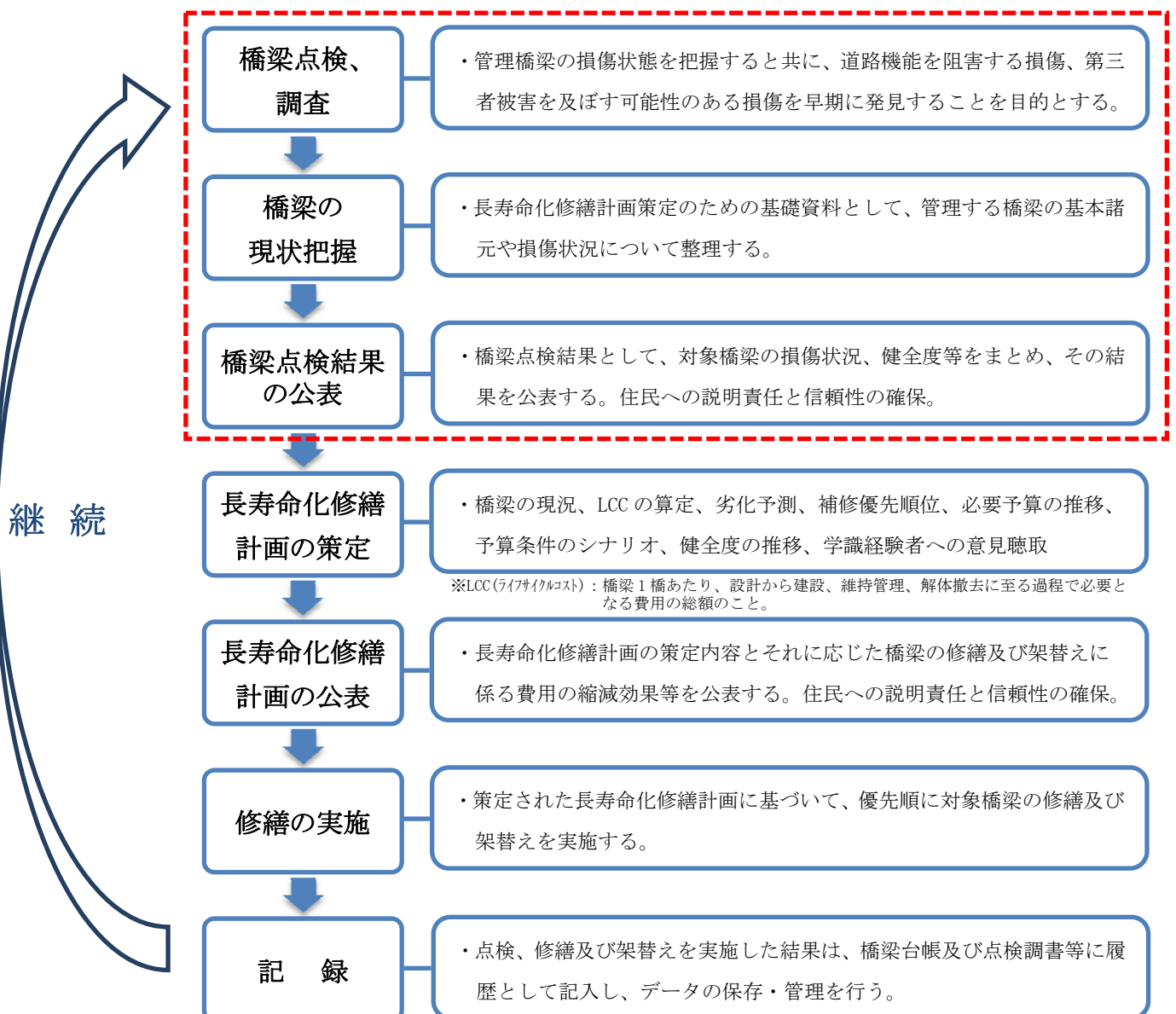
そこで、先に述べられている現状に対応するため、国では新たに「長寿命化修繕計画策定事業」を制度化し、橋梁管理者に対して実施勧告を行っています。

長寿命化修繕計画とは、今後老朽化する橋梁数の増大に対応するため、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへの転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性、信頼性を確保することを目的としています。

【概 要】

当事業の流れは、以下をご覧ください。

現在実施中



【橋梁点検結果】

新冠町では、平成 21 年度(2009 年)に 38 橋、平成 22 年度(2010 年)に 20 橋、平成 23 年度(2011 年)に 32 橋の点検を行い、管理する道路橋 90 橋全ての橋梁点検が終了しました。

点検された橋梁の中には、通行止め、交通規制等の緊急対策を要する橋梁はありませんでした。

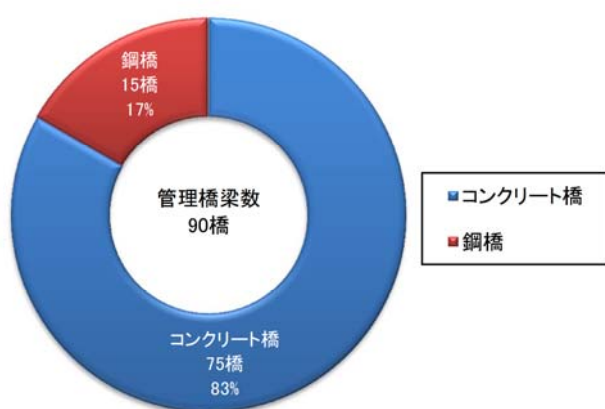
【現状と課題】

新冠町が管理する道路橋は、歩道橋を含めると、現在 90 橋あり、その大半は高度経済成長期(1955 年～1973 年)以降に建造されてきたものとなっています。このうち、建設後 50 年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在では全体の約 1%程度に過ぎませんが、20 年後には、この割合が約 52%と全体の半分以上を占め、高齢化した橋梁が急速に増大するという調査結果が得られています。これにより、多くの橋梁では、経年劣化に伴う損傷や不具合が発生する可能性が増え、それらは交通の安全を脅かすことにつながっていきます。

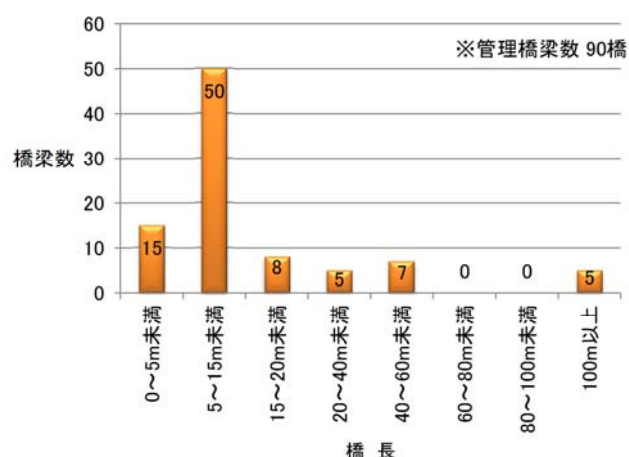
このような問題に対して、今後ますます橋梁の維持管理に視点を向けて環境を整えていかなければなりません、限られた財源の中で維持管理体制を確立していくことが課題となっています。

そのため、今後増大が見込まれる高齢化した橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが必要不可欠となっており、国をあげての事業として全国展開しているのが現状です。

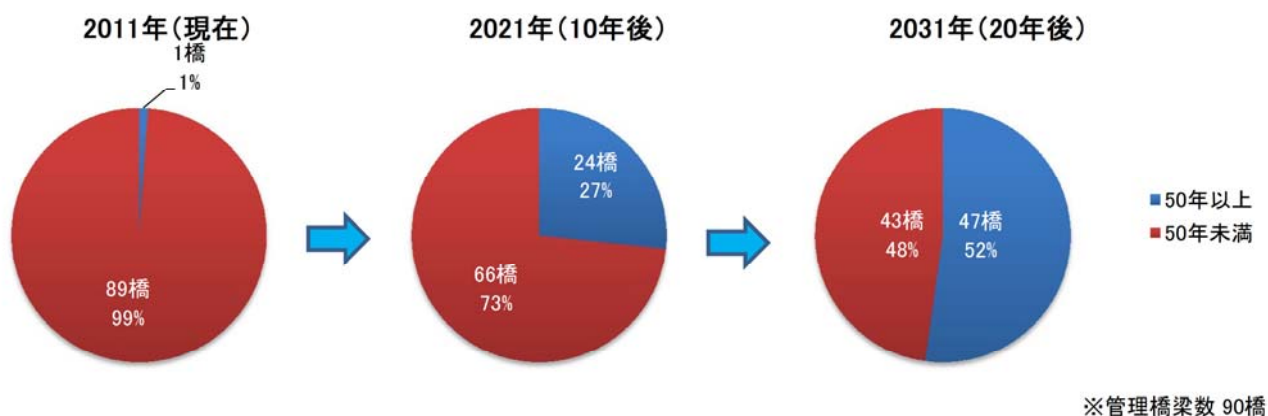
橋種別の橋梁数(2011 年現在)



橋長区分別の橋梁数(2011 年現在)



建設後 50 年以上の橋梁数の推移



【今後の予定】

平成 24 年度(2012 年)には、橋梁点検結果を基礎資料として、全橋梁を対象にした長寿命化修繕計画の策定を行う予定です。

それ以降につきましては、立案された橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、橋梁の損傷箇所の修繕及び架替え等を随時行う予定です。

また、路面段差等の軽微な損傷箇所については、その都度修繕・復旧していく予定です。

橋梁長寿命化修繕計画の流れ

新冠町 管理橋梁 (総数)	H21 年度 (2009 年)	H22 年度 (2010 年)	H23 年度 (2011 年)	H24 年度 (2012 年)	H25 年度 (2013 年) 以降
90 橋	橋梁点検 38 橋	橋梁点検 20 橋	橋梁点検 32 橋	長寿命化修繕 計画策定(予定)	修繕及び架替え (予定)

新冠町の橋梁長寿命化修繕計画に関する問い合わせ先

新冠町 建設水道課

TEL : 0146-47-2111

FAX : 0146-47-2600

E-mail : niikappukensetu@air.ocn.ne.jp

以上。